

International Office News

インターナショナルオフィスニュース

第22号 2020年(令和2年)5月18日



「さめきプログラム」が6年目に入りました!



インターナショナルオフィス(留学生センター)では、2014年から「さめきプログラム」を開始しました。これは、留学生センターの本来業務である国費留学生への半年間の日本語予備教育と、過去第20回まで実施した2週間の短期受入プログラムをもとに、主として交流協定校から特別

聴講学生として留学生を受け入れる半年間のプログラムです。日本語や日本文化に興味があっても、日本語能力の壁により留学がなかなか叶わないという、主として日本語初級レベルの学生を、交換留学生(特別聴講学生)として受け入れたいという思いから、日本語能力や国での専門分野を問わず受け入れを行っています。1期生はブルネイ・ダルサラーム大学からの1名のみでしたが、その後努力を重ね、回を重ねて、現在までに11期生まで計71名を受け入れることができました。

開始にあたっては、当時なかった「単位付きの初級日本語授業」を設け、従来の特別聴講学生は日本語で日本人と一緒に受講するのが前提であった語学以外の授業についても、「英語で学ぶ留学生向けの科目」「英語も使える、日本人学生との共修科目」「英語で学ぶ、日本人学生との共修授業」を検討、それぞれ関係教員の協力を得て「初級日本事情」「プロジェクトさめき」「Leading Edge Issues in Kagawa University」という単位付き科目として実現してきました。プログラム名や上記授業名にも示すとおり、香川県で香川県について学ぶ、という側面も重視しています。

大学での座学以外にも、課外教育行事や企業見学会として県内の名所・文化施設・企業等を訪問し実地で学んだり、伝統文化やお国料理を通して地域住民と交流したりと、多様な学び・経験の場を提供しています。10期生からは、半年間の記録とその後の広報

のため、全員で『さめきプログラムMagazine』の作成も始めました。プログラム修了後、大部分の学生は帰国しますが、中には本学に残り、他学部へ籍を移して専門分野の学業をもう半年続ける学生もいます。このような日本語学習から専門分野の学びへとというブリッジ的な役割を、将来的にはもう少し拡大し、本学大学院への入学増にもつなげられたらと考えているところです。

開講式での緊張した顔が修了式での達成感あふれる笑顔に変わるまでの半年間、我々教職員も日々学生たちと共に苦楽を重ね、成長しています。今後は、国連が提唱するSDGs(Sustainable Development Goals)の14のゴールの一つ「海の豊かさを守ろう」を主軸に据え、県や地元NPO等とも連携しながら瀬戸内海に面した本県ならではの学びを深めていこうと、構想を膨らませているところです。

この4月期は、新型コロナウイルスの影響で予定していた12期生11人の受け入れをやむなく見送りましたが、終息した暁には気持ちも新たに再始動します。引き続き、ご協力・ご支援等よろしくお願いいたします。



年度	学期	受け入れ人数(人)										小計
		ブルネイ	台湾	タイ	インドネシア	韓国	カンボジア	ドイツ	フランス	トルコ	中国	
2014	後1期	1										1
2015	前2期	3	1									4
	後3期	3		1								4
2016	前4期	2		1								3
	後5期	1										1
2017	前6期	4	3	6	2		3	1				19
	後7期		1	3	1							5
2018	前8期	2	5			1						8
	後9期	2	5	2								9
2019	前10期	2	4		1							7
	後11期	1	3			1			1	1	3	10
合計												71

<国際交流活性化の推進>

グローバル・カフェでのクラス・イベントなど

○タイ語・韓国語クラスを新設

2019年度後期に新たにタイ語・韓国語を開講しました。両クラスともに留学生がGlobal Café Assistant Teacher (グローバル・カフェ アシスタント・ティーチャー) として、初学者でも親しみやすいように簡単な日常会話や発音を教えるクラスを担当しました。前期に開校した4クラス(英語・フランス語・スペイン語・中国語・ドイツ語)に加え、2019年度は合計7言語のクラスを開講しました。



○グローバルイベントを実施

様々な参加型のイベントを開催しました。それぞれの国の文化の一端に触れながら、日本人学生と留学生双方で交流することができました。

ロイクラトン祭りガトン手作り体験(タイ) 2019年10月17日(木)



ロイクラトン祭りの精霊流し用の船「ガトン」を手作りしました。



各自作ったガトンを大学正門前の噴水プールに浮かべました。

ハロウィン・パーティー(欧米) 2019年10月31日(木)



ユンノリ大会(韓国) 2019年11月13日(水)

韓国のすごろく「ユンノリ」を楽しみました。





クリスマス・パーティー & グローバル・カフェポイント抽選会 2019年12月19日(木)



自己紹介の後、クリスマスにまつわるクイズを皆で楽しみました。



グローバル・カフェポイントを貯めた学生に、抽選でプレゼントが送られました。

● 畳べりを使った樹脂細工手作り体験(日本) 2020年1月22日(水)



香川大学学生プロジェクト SPOT が樹脂細工の作り方を教えてくれました。

畳べりやビーズなどで模様を決めて樹脂を型に流し入れて紫外線で固めます。



型から外すと、出来上がり!



○第1回香川大学英語俳句コンテスト

大学教育基盤センター Ian Willey 准教授の協力・指導の下、初めて「英語俳句オリエンテーション」「英語俳句コンテスト」を実施しました。日本人学生・留学生ともに、楽しみながら、俳句という文学形式の普遍性と日本語・英語それぞれの特徴を味わう機会となりました。



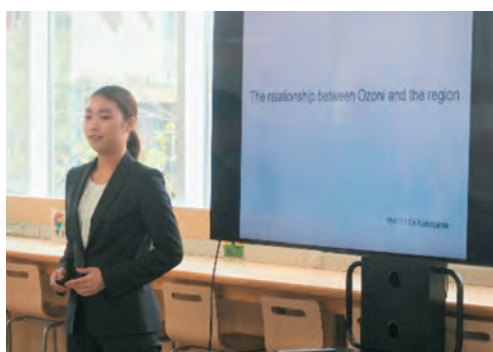
英語俳句オリエンテーション



英語俳句コンテスト表彰式

○第5回香川大学英語プレゼンテーションコンテスト

2019年12月7日(土) 学習ラウンジにて、第5回香川大学英語プレゼンテーションコンテスト・英語俳句コンテストの表彰式を併せて行いました。



グループ 1 (Advanced Intermediate) 表彰式

インターナショナルウィーク 2019年12月7日(土)～12月18日(水)

香川大学 インターナショナルウィーク
INTERNATIONAL Week
2019年12月7日(土)～12月18日(水)

まずは → 12月7日(土) 友達呼んで聞きにきてね!
そして English Presentation Contest 13時～@グローバル・カフェ

2019年12月9日(月)～12月13日(金)
ハラルフードウィーク
@香川大学生協食堂 全キャンパス

12月9日(月)
Lunch Presentation + Quiz!!
12時10分～12時50分 @グローバル・カフェ

12月10日(火) 発表会
Contest入賞者によるプレゼン披露
English Presentation & English Haiku
12時10分～12時50分 @グローバル・カフェ

12月11日(水)
第2弾! 大学生協&香川大学 合同留学フェア
12時半～@生協食堂

12月12日(木)
留学生による協定校紹介 ポスターセッション
12時10分～12時50分 @グローバル・カフェ

12月13日(金) 異文化紹介
フィンランドのサンタさん知ってる?
14時半～16時半 @グローバル・カフェ
香川フィンランド協会とのコラボレーションです!

お問い合わせ? 香川大学 インターナショナルオフィスまで

12月18日(水)
学長主催外国人留学生交歓会 @ホテルパールガーデン ※対象者の制限があります。

さいごに

グローバル・カフェにて各種イベントを行い、生協食堂にて大学生協と合同で留学フェアを開催しました。また、生協の協力を得て、全キャンパスでハラル食を提供する「ハラルフードウィーク」を実施しました。



英語プレゼンテーションコンテストの入賞者たちがプレゼンを披露し、昼休みの時間帯で学習ラウンジに集まっている学生たちにも聞いてもらいました。

さめきプログラムの留学生を中心に、自分の在籍する大学について紹介するポスターセッションを行いました。



ルールの説明 Rules
パフェのグラス×1から始まる
Start with 1 Parfait Glass

クイズに正解したらひとつ果物・アイスをゲット。
Answer correctly and obtain one fruit or ice cream.

果物が一番多かったら優勝!
Most number of fruits on parfait = WINNER!

三木高校のインターンシップ生が考えた各国にまつわるクイズ大会を実施しました。正解したら紙製のフルーツがもらえます。それを集めて「フルーツパフェ」を作る、という作業をしながらクイズに参加してもらいました。

第7回嘉義大学・香川大学合同ワークショップが開催されました

2019年10月30日（水）～10月31日（木）台湾・国立嘉義大学において、第7回嘉義大学・香川大学合同ワークショップが開催され、本学からは徳田副学長をはじめ、教職員20名、学生16名が参加しました。

合同ワークショップは2012年8月に初めて開催され、翌年4月の大学間学術交流協定の締結を経て、今回で7回目の開催を迎えました。

開会式ではChishih Chu副学長と徳田副学長の挨拶の後、参加者の紹介、記念品の交換が行われ、続いて主に両大学の交流についてパネルセッションが行われました。その後、会場を移動し、農学、教育、工学分野に分かれてセッションが行われました。

2日目には農学、工学分野では引き続きセッションが行われ、教育学部、インターナショナルオフィスの教職員・学生は嘉義市内の幼稚園、小学校を案内していただきました。

各セッションでは活発な議論・質疑応答が行われ、バンケットやエクスカージョンにおいても、学生らは嘉義大学の留学生や日本語を勉強している学生らとの交流を深めることができ、大変有意義なワークショップとなりました。



中東工科大学職員研修受入

2020年1月27日（月）～1月31日（金）の5日間、トルコにある協定校の中東工科大学から、寮の運営を担当しているシベル・アティ・エルドガンさん、建築関係の業務を担当しているエルヴァン・オダバシさんを職員研修として受け入れました。

5日間の研修プログラムでは、寮、各キャンパス、図書館等への訪問、本学で寮の運営を担当する学生生活支援グループとの意見交換、本学学生との交流等が行われました。また環境省四国事務所の協力を得て、屋島・五色台のフィールドトリップも行われました。



10スタッフ・学生生活支援グループで歓迎会を開催しました。



創造工学部において中東工科大学とトルコの食文化を紹介してもらいました。



世界三大料理!!



協定の主管である農学部を訪問

屋島からの景色を堪能



5日間という短い間でしたが、学内外で様々な交流を行うことができました。お二人からは、「一生のうちに絶対日本を訪問すべきだと周囲の人に伝えます!そしていつでもトルコへの訪問を歓迎します。」とメッセージをいただきました。

<外国人留学生対象行事>

2019年度10月期新入外国人留学生ガイダンス及び歓迎会

2019年10月から香川大学へ入学した新入外国人留学生を迎え、2019年10月5日（土）に、日本での生活に関するガイダンスと情報交換会を、多目的ホールで開催しました。

ガイダンスでは、香川県警察から講師の方々にお越しいただき、日本での交通ルールなどについてご講演いただきました。また、日本での生活に関わるマナーやルールについて、本学の教員から説明を行いました。渡日して間もない留学生たちは、真剣な面持ちで説明を聞いていました。

情報交換会では、新入留学生はもちろん、すでに香川大学で学んでいる留学生、外国人留学生との交流に積極的な日本人学生、いつも多大なご支援を頂いている多くの国際交流団体の皆様にお集まりいただき、146人参加者の盛大な歓迎会となりました。

今期の新入留学生だけで、16か国から45名の外国人留学生を迎えており、本学の国際化もより一層加速しております。

賑やかな歓迎会の様子からは、本学における今後の有意義な学生生活を垣間見ることができ、期待が膨らむ歓迎会となりました。



2019年度後期（秋期）日本語研修コース（さめきプログラム、国費留学生）

さめきプログラム11期生10名と国費留学生2名を迎え、2019年10月9日（水）に開講式を行いました。開講式には寛学長もご出席くださり、式後の記念撮影は学長のご好意で学長室にて、という、初めてにして貴重な経験をさせていただきました。

さめきプログラム11期生の内訳は、台湾と中国から各3名、ブルネイ・韓国・フランス・トルコから各1名で、国費生は、ブータンからの教員研修生とタイからの日本語・日本文化研修生です。さめきプログラムに中国・フランス・トルコから参加があったのは初めてで、ブータンから本学への留学生も非常に珍しく、バラエティに富んだ顔ぶれでの新学期スタートとなりました。

この12名は約半年の留学生生活を経て2020年2月14日（金）に修了式を迎えました。式では、渡日後あいうえおから始めた学生も全員、日本語で2～3分のスピーチをし、式後のさよならパーティーでは、毎週の定例ミーティングで練習を重ねてきた日本語の歌「四季の歌」「切手のないおくりもの」を披露、なごやかな良い締めくくりとなりました。毎回ボランティアで着物を着つけてくださる仏生山国際交流会の方々をはじめ、日頃から留学生たちを支えてくださる地域の皆様に改めて感謝申し上げます。

コロナ災禍が始まりつつあった中、さめきプログラムの9名は全員無事帰国し、残りの1名と国費生2名は学業継続のため本学に残り、それぞれの地で新たな出発をしています。



開講式後、学長室にて



情報交換会で歌を披露



修了式



情報交換会

第2回課外教育行事

2019年11月23日（土）、第2回課外教育行事を実施しました。前半では屋島寺を訪問し、各自で自由に見学・散策しました。天候も良く、学生は思い思いに参拝や写真撮影等をしていました。その後東かがわ市へ移動し、白鳥神社で昼食や「日本一低い山」を探す活動をしました。午後は皆で和三盆づくりを



した後、2班に分かれて醤油づくりとチョウザメの見学という、東かがわならではの体験をしました。醤油の製造には手間暇がかかること、キャビアを得るためにも長い年月や多額のコストがかかること等を、見学やスタッフの方の説明を通じて学び、香川県の産業への理解が深まりました。



和三盆づくり

つばさキャビアセンターにて

2019年度 香川大学長主催外国人留学生交歓会を開催

2019年12月18日（水）、市内ホテルにおいて、香川大学長主催による外国人留学生交歓会が開催され、本学の外国人留学生等、約220人が参加しました。

この行事は、本学の学長主催により、本学の外国人留学生を励ますだけでなく、留学生相互及び教職員、チューター、地域の方々等関係者との親睦を深めることを目的として、毎年、開催しているものです。

当日は、留学生センター留学生のハイマン・マルズキさん、ランソン・ソイティプさんの司会進行のもと、寛学長による激励の挨拶、留学生代表教育学部留学生のCHILAMBA, MOYENDA, MOSES（チランバ モイェンダ モーゼス）さんによる挨拶、そして、徳田副学長による乾杯により、交歓会が開始されました。

その後の歓談に続いて、留学生によるパフォーマンスも披露され、バングラデシュ、ベトナム、タイ、インドネシアの4組のチームが熱演し、会場は大いに盛り上がりました。

香川大学の留学生は年々増加傾向にある中、このような行事をきっかけに留学生達の交流の輪が広がり、日本での留学生活がより充実したものになることを願っています。



2019年度第2回ホームビジット

香川県留学生等国際交流連絡協議会が主催する、県内在住の留学生と地域の日本人との交流や日本文化の理解を目的としたホームビジット事業のうち、第2回が2019年11月30日（土）と12月7日（土）に行われました。留学生30人、ホストファミリー19家族と多くの参加者が集まりました。留学生は、ホストファミリーと観光名所や買い物に出かけたり、料理を共に作る等、それぞれの交流を楽しみました。参加した留学生からは、「ホストファミリーとまた会いたい」「多くの学びがあった」「貴重な体験」等の感想が寄せられ、留学生とホストファミリー双方にとって実りある経験となったようです。



外国人留学生への就職支援(講座、交流会等)

2019年度後期には、留学生対象就職支援として「留学生就職活動準備セミナー」「企業見学会」「ビジネスマナー講座」を実施しました。就職活動準備セミナー(2019年11月4日(月))では、接客マナーや食事マナーを実践する日本文化基礎講座(香川大学生協 西山 剛氏)、日本企業に内定した先輩留学生による就活体験談(ブイ クォク フィー氏)、日本における就職活動について(株式会社マイナビ 坂田 隆氏)の3つの内容を学びました。企業見学会(2020年1月17日(金))では、鎌長製衡株式会社を訪問し、概要説明の後工場を見学し、生産現場を実地に学ぶことができました。ビジネスマナー講座(2020年2月26日(水))では、今年度も坂田 隆氏(株式会社マイナビ)をお招きし、お辞儀の実践練習、就活における服装、説明会での振る舞い、電話や電子メールにおけるビジネスマナーを具体的に学ぶことができました。



工場内で



ビジネスマナーの実践練習

留学生のつどい

2020年1月25日(土)、香川県留学生等国際交流連絡協議会の主催で2019年度「留学生のつどい」を開催しました。学生、国際交流団体関係者、教職員等70名が参加しました。

第1部「ホームビジット報告会」は、プログラムの概要の説明後、参加留学生2名及び受入ホストファミリー2名による体験報告がありました。

第2部「第16回作文コンテスト表彰式」は、27作の応募の中から、優秀賞・高松キワニスクラブ賞・佳作・審査委員特別賞の表彰後、優秀賞と高松キワニスクラブ賞の2名が作文の朗読を行いました。

第3部「留学生によるパフォーマンス」では、留学生らが歌・ダンスなどを披露しました。



留学生によるホームビジット報告



作文コンテスト入賞者の表彰



参加者全員で記念撮影

2020年度 春期 新入留学生ガイダンス および上之町国際寮ガイダンス

今年度もこれらのガイダンスについて、例年通り実施すべく3月末までは準備を進めていました。その後徐々にコロナウイルスにより状況が悪化し、最終的にガイダンスの通常実施ができなくなりました。そこで、ビデオ、紙媒体、メール連絡を組み合わせ、留学生の皆さんに迅速に情報が届けられるような体制を整えました。全体ガイダンスは、例年に近い紙媒体に加えて、ビデオを各部局の窓口でも視聴できる体制にしました。上之町国際寮は新規入居者もある程度以上おり、かつ書類上の手続きが一部必要だったので、該当者には広いスペースでビデオを視聴してもらうことにしました。状況が改善した段階で、自転車の講習会や防災ガイダンスなどを改めて計画する予定です。この状況があまり長引かず、改善していくことを祈りたいと思います。



新入留学生 生活ガイダンス



上之町国際寮ガイダンス

<日本人留学生増加のための取り組み>

第11期「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」地域人材コース

2019年度は第11期の選考・派遣があり、本学からは4名が採用されました。

①事前オリエンテーション（2019年7月14日（日））

学外講師として香川県県産品振興課の藤本圭一氏と四国電力株式会社の高嶋智典氏を招き、藤本氏には香川の県産品の魅力について、高嶋氏には香川における企業活動について課題も含めて講義をしていただきました。また、学生は「はまち」「瀬戸内海」「丸亀うちわ」など香川県に関するテーマについて英語で発表し質疑応答を行いました。



②壮行会（2019年8月6日（火））

浜田恵造香川県知事、寛香川大学学長、文部科学省の萬谷宏之審議役をはじめ、地域企業、県内の高等教育機関等から約50人が参加して、派遣留学生を激励しました。4名の派遣留学生たちは支援企業代表（大川自動車・田尾勝氏）、先輩派遣留学生（第5期岡田悠輝さん）からメッセージを受けるとともに、留学で何を学び、どう香川に貢献するかについて決意表明を行いました。



※なお、2019年3月に留学を開始した学生が、新型コロナウイルス感染拡大による現地の状況悪化のため、3月下旬に留学を中断、帰国せざるを得なくなりました。一日も早い終息を願うばかりです。

2019年度冬季危機管理セミナーを開催

2020年2月17日（月）、令和元年度冬季危機管理セミナーを開催しました。本セミナーは、春休みなどに海外渡航を予定している学生、教職員を主な対象として、海外へ渡航する際のリスクとその回避方法や心構えについて専門的知見を有する講師から講演をいただくもので、全キャンパスで約80名が参加しました。

徳田インターナショナルオフィス長から開会挨拶の後、香川県立中央病院の横田恭子氏から「海外渡航に伴う感染症対策～渡航前・渡航後～」の演題で感染症（特に新型コロナ）の情報や対策、病院を受診する際の注意点などを講演していただきました。その後、日本エマージェンシーアシスタンス株式会社の江見裕明氏からトラブルや危険からの予防・対策について説明をしていただきました。今後も本学の学生及び教職員の海外渡航における危機管理意識の向上を目指し、定期的にセミナーを開催する予定です。



ちきゅう見聞録

インターナショナルオフィスのホームページに月に一度、海外留学中の学生さんの現地報告を掲載しています。世界中で学んでいる香大生の様子をぜひ以下の URL で!

https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/study_abroad/publication-2/



<地域との交流>

三木高校インターンシップ受入

インターナショナルオフィスでは三木高校生4名をインターンシップ生として受け入れ、2019年8月から2020年3月まで計9回の活動を行いました。活動成果はレポートにまとめられて、オフィス教職員からコメントを受けました。2020年3月30日(月)に成果報告会を実施、2名が半年間の活動を通しての学びについて発表し、徳田オフィス長から修了証書を授与されました。



英語プレゼンテーションコンテストの参加者たちと



農学部で留学生と対話



異文化とは外国だけにあるものではないことや、視野を広げる努力が必要だと気づきました。

最終報告会で成果発表



「国際」は私の生活の周りに身近にあるものだとなりました。

修了証書授与

<他機関との連携活動>

JICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）

カンボジア国「カンダルスタン郡の衛生教育改善のための学校保健体制の構築プロジェクト」

（実施期間2017.2.28-2020.2.27）

本学が2017年2月より香川県と共同で実施してきた標記プロジェクトはいよいよ終盤を迎えました。今期は2019年12月、日本の学校健康診断を紹介するために本学教員が現地に出張し、カンボジア教育青年スポーツ省、保健省並びに健康科学大学（University of Health Science）の全面的な協力のもと、内科検診と歯科検診のデモンストレーションを行いました。プノンペン市内の私立学校の児童と本プロジェクトの対象地区（首都から車で1時間）カンダール州カンダルスタン郡の児童との身長と体重を比較したところ、統計学的有意差が認められ、地方の子どもの発達に影響を及ぼす栄養の問題や歯磨き指導の技術的な問題も指摘できました。（本プロジェクトと医療技術等国際展開推進事業との共催）

また、小学校向けの保健テキストについても英語版・クメール語版の印刷を完了し、教育省に寄贈しました。カンボジア教育青年スポーツ省は、これを政府認定学校保健テキストとし、3月22-24日に予定されていた全国教育会議で香川大学から紹介する予定でしたが、生憎、新型コロナウイルスのために会議が延期となりました。しかし、学校現場における今後の活用が期待されます。

さらに、学校にトイレや手洗い場がないという状況を改善するため、草の根技術協力予算に加えて、本学が独自にクラウドファンディングを行って集めた資金も用いて、域内の3校にトイレ、手洗い場を建設していましたが、全て完工し学校に引き渡されました。

2020年2月4日（火）、現地にて本プロジェクトの閉講式が実施され、3年間に亘る本学の取組が終了しました。本プロジェクトについては、学校現場における衛生教育の改善に大きな効果があったとカンボジア教育青年スポーツ省が高く評価しており、閉講式において同省のキム・セタニー長官より謝意が表されました。



内科検診のデモンストレーション



歯科検診のデモンストレーション



トイレ掃除をする児童



完工した新しいトイレの前で。男子と女子のトイレを分ける為、新しいトイレの入口の扉はピンク色に塗られています。



歯磨きを実践する児童



2020年2月4日に行われた本プロジェクトの閉講式にて

インターナショナルオフィスからのお知らせ

●国際グループ

松家 秀真（留学生担当）

学生と国際、どちらも初めて経験する分野ですが、精一杯頑張ります。よろしくお願いします。

河内 正則（留学生担当）

ご縁に感謝です。今年度よろしくお願いいたします。

三好 菜月（国際交流担当）

国際交流を通じて、少しでも学生生活をサポートさせていただきたいと思っています。これからよろしくお願いいたします。

中川 直子（国際グループリーダー）

4月から国際グループの一員になりました。学生のみなさんとの出会いを楽しんでいます。お気軽にインターナショナルオフィスにお越し下さい。

今井 浩之（留学生担当）

はじめまして。これから皆さんの力になれるよう頑張ります！

●グローバル・カフェ



Galeth Colhoun（コーディネーター）

Please call me Gaga. I'm passionate about learning and helping others learn, including languages. I love people and I love talking so both classrooms and multicultural social spaces, like Global Café, are exactly where I want to be. Come find me and let's chat! (In English, please.)



Stop COVID-19

新型コロナウイルス感染症の全世界での蔓延により、2020年度の留学生の受け入れも、日本人学生の海外派遣も、大幅に延期もしくは中止となっています。一日も早い終息のために、我々は皆様と力を合わせて努力して参ります。学生たちにはオンラインでの指導や支援を行いながら、終息した時にすぐ活動を開始できるよう、準備してもらいます。皆様にもくれぐれもご健康にお気を付けください。この危機を一緒に乗り越えましょう。（インターナショナルオフィス一同）

香川大学
インターナショナルオフィスニュース
第22号 2020年(令和2年)5月18日

香川大学インターナショナルオフィス
〒760-8521 高松市幸町1-1
Tel : 087-832-1318 Fax : 087-832-1192
E-mail : soryucet@jim.ao.kagawa-u.ac.jp
URL : <https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>
留学生センターfacebook
URL : <https://www.facebook.com/KUISC>
グローバル・カフェfacebook
URL : <https://www.facebook.com/香川大学Global-Cafe-200487660561600/>